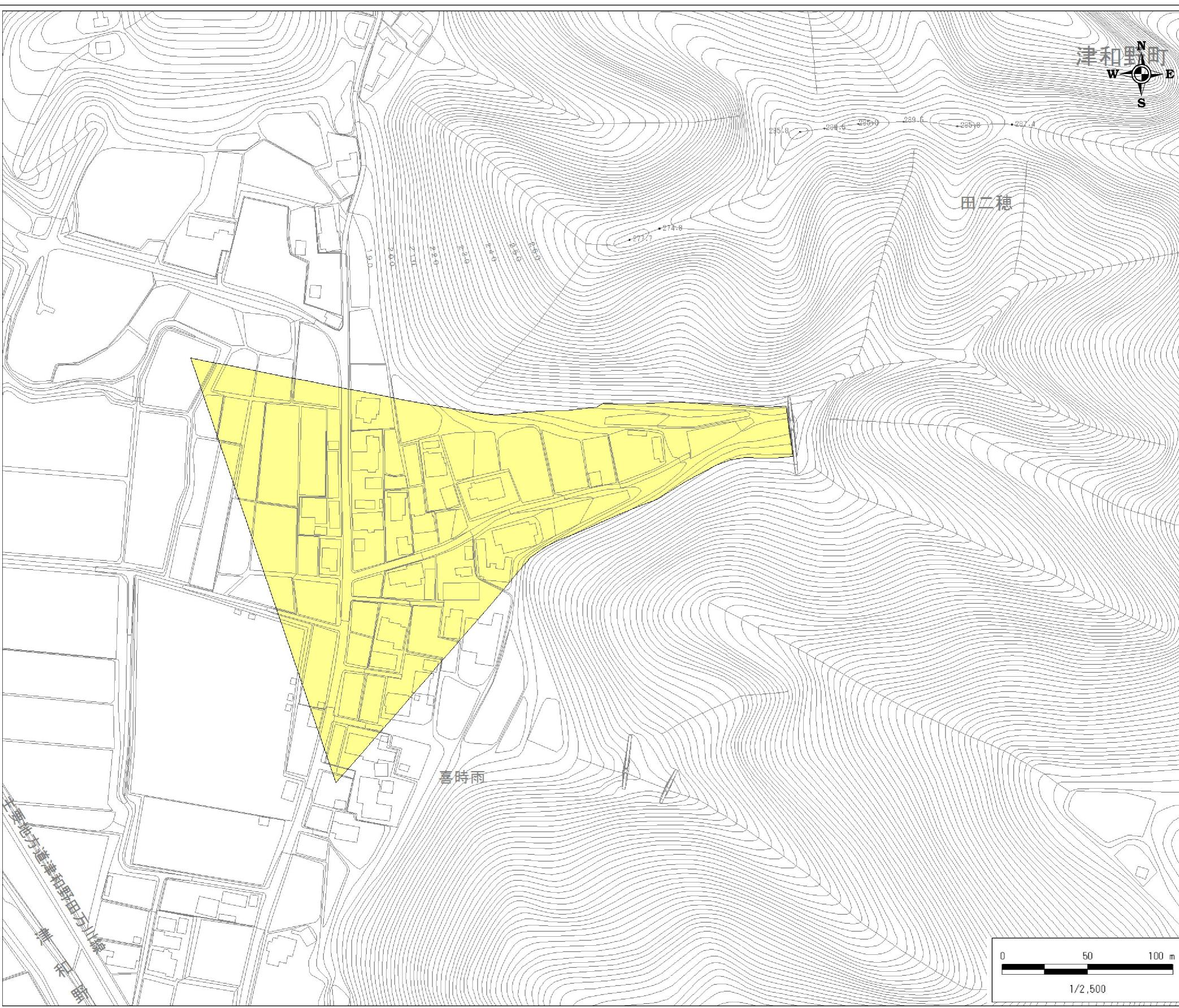


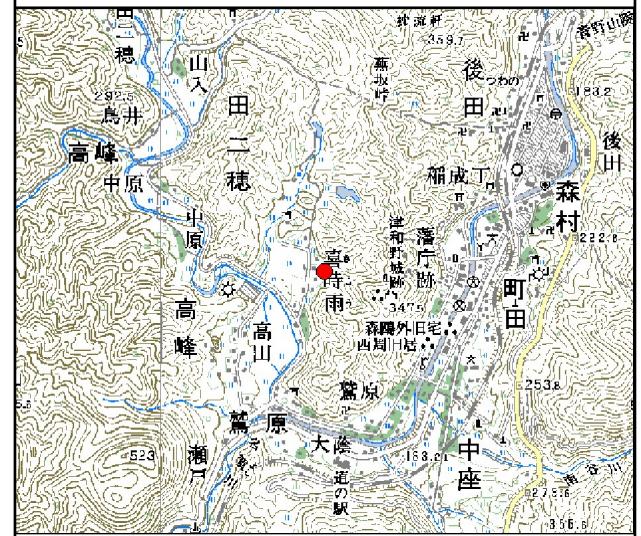
土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域 区域図

縮尺: 1/2,500



自然現象の種類	土石流
基礎調査番号	132501A660402018
箇所名	喜時雨川A
所在地	鹿足郡津和野町田二穂

位 置 図^{*} 縮 尺 : 1/50,000



※この地図は、国土地理院の数値地図50000(地図画像)を使用したものである。

区域図凡例

砂災害警戒区域

土砂災害特別警戒区域 ((数字)は区分番号)

土石流の高さが1mを超える区域

**建築物に作用すると予想される力が
50kN/m²を超える区域**

50kN/m²以下の区域

そ

土石築の力の大きさの表示

上右等の方の大ととの表示

力の区分表記の説明

A) 土石流により建築物に作用すると想定される力のうち最大のもの (kN/m²)
 B) (A)が当該建築物に作用する場合の土石流の高さ (m)

告示履歷

告示年月日	
告示番号	
告示年月日	
告示番号	

※「土石等の力の大きさの表示」欄で表示される数値は、実数値（計算値）を小数第二位で四捨五入したものですが、そのため、凡例で区分している数値の境界値付近では、凡例の説明と表示数値が一致しない場合があります。

そのため、凡例で区別している数値の境界値付近では、凡例の説明と表示数値が一致しない場合があります。例1) 土石流の高さの計算値が $1.01m$ の場合、四捨五入により $1.0m$ と表示されますが、実際は $1m$ を超えているため、「土石流の高さが $1m$ を超える区域」に該当します。

例1) 土石流の高さの計算値が 1.01m の場合、四捨五入により 1.0m と表示されますが、実際には 1.0m を超えているため、「土石流の高さが 1.0m を超える区域」に該当します。

例2) 「土石流の高さが1mを超える区域」のうち、建築物に作用すると予想される力の計算値が50.01kN/mの場合、実際は50kN/m²を超えていたため、「建築物に作用すると予想される力が50kN/m²を超える区域」に該当します。

1 / 1

島根県